

令和6年度第2回図書館利用者懇談会記録

名称	令和6年度第2回 図書館利用者懇談会
日時	令和6年11月9日（土）午前9時30分から11時30分まで
会場	八雲中央図書館 会議室
出席者	35人 内訳 利用者 23人 区側（図書館・事務局）12人 八雲中央図書館長、庶務係長、事業計画係長兼大橋図書館長兼緑が丘図書館長、企画調整担当係長兼目黒区民センター図書館長、資料係長兼守屋図書館長、サービス係長兼目黒本町図書館長兼洗足図書館長、貸出・予約係長兼中目黒駅前図書館長、事務局（庶務係）、バックヤードツアー担当
懇談会次第	1 開会 2 八雲中央図書館長挨拶 3 八雲中央図書館バックヤードツアー （ケーブルテレビイッツコム取材あり） 4 バックヤードツアーについての感想と意見交換 5 閉会
配布資料	1 次第 2 目黒区の教育 令和5年度事業報告書 図書館抜粋（5Ⅲ図書館） 3 アンケート
主要な発言	
1 開会 2 八雲中央図書館長挨拶 図書館長：日頃から目黒区立図書館をご利用いただきまして誠にありがとうございます。また本日は令和6年度第2回利用者懇談会にご参加くださりましてありがとうございます。この利用者懇談会は、図書館をご利用くださっている皆様と図書館職員との懇談を通して、より皆様に親しまれる図書館づくりを進めていくということを目的として開催しているものでございます。 本日は、まず八雲中央図書館のバックヤードをご紹介します。利用者の皆様が普段入ることができない書庫などをご覧いただきますので、この機会に図書館への理解をより深めていただければと思っております。その後、皆様からバックヤードツアーの感想や、図書館へのご意見、ご質問等何う時間を設けておりますので、積極的にご発言いただきますようお願いいたします。 それでは本日の懇談会を開始いたします。どうぞよろしくお願いいたします。（図書館出席者紹介） 3 八雲中央図書館バックヤードツアー	

4 バックヤードツアーについての感想と意見交換

図書館：図書館の裏側はいかがでしょうか？動く書庫等、皆様とても興味深く見ていただけたかと思います。今回の説明内容は、小学校2年生の図書館見学と同様のルートをご覧くださいしております。今日は大人バージョンで難しい話もございましたが、このような形で図書館も学校の授業の1つとして協力しております。

図書館：図書館のここが知りたい、教えて欲しいということがありましたら、手を挙げていただいて、いつもご利用いただいている図書館とお名前を教えてくださいながら、発言をお願いします。

先ほど、今日何人応募があったのかというご質問をいただきました。70名応募がございましたが、定員30名の方だけ当選という形でご連絡を差し上げました。ただ本日欠席の連絡もあり、全員で23名という形で実施しております。

参加者：保存庫のところで大型絵本を拝見しましたが、大型絵本は個人では借りることができないのですか。

図書館：大型絵本は、個人貸し出しは行っていません。団体登録といって、団体を区内で作っている組織、例えば学校やボランティア団体などに貸し出ししております。まだ点数が足りておらず、個人の方に貸し出しするには難しい状態です。使い方がおはなし会や、1人でたくさんの人たちに読み聞かせをするために作られたものなので、イベント用ということで用意しています。

図書館：今日参加してみた感想や、図書館の中を見ての印象を教えてくださいませんか。

参加者：一日何冊くらい装備するのですか。

図書館：スタッフは、1時間に20冊装備できることを目標にやっています。1日でどのぐらいになるかというのは、その日の出勤人数によるところがありますが、200冊ぐらいはできるかなというところです。

参加者：装備の中で一番大変なことは何ですか。

図書館：それぞれの本の形に合わせたり、カバーの裏にある絵を生かしたり、本の形や厚さに一番合うようにするという工夫が大変かなと思っています。

参加者：年間にどれくらい本は借りられていますか。

図書館：「目黒区の教育」という冊子から抜粋したものが置いてあります。教育委員会全部の中の図書館の分だけをお配りしています。それによると1年間で、全館で3,779,355冊貸し出ししています。1日平均だと1万冊ぐらいです。

図書館のウェブサイトにも、図書館博士になろうという子どものページがあり、こちらに図書館が開いている日数や来館者、本の数が書いてありますので、よろしければウェブサイトもご覧ください。

今子ども向けのページの説明をいたしましたが、大人向けには、先月末に利用者統計をウェブサイト公開しました。その中でどのぐらいの利用があるかというデータを挙げました。館内であればフリーWi-Fiを使うことができます。利用統計というところで、それぞれ詳しい数字を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

参加者：中目黒駅前図書館を利用させていただいています。普段見られない裏側の図書館の顔が見られて、閉じられた書庫は普通の開架と全然違うとか、事務室がとても開けていて端末がいっぱいあるとか、装備のところが見えて、自分の足で歩いて面白いと思いました。

2点質問です。1点目、例えば各図書館の蔵書は何系の分野の本が多い等の違いあるのか、それとも図書館の規模によって、分野ごとに均等に同じぐらいの割合で置かれているものなのか知りたいです。

もう1点、図書館スタッフの役割分担は決まっているのか、それとも今日はカウンターで今日は装備等、流動的なのか、素朴な疑問があります。

図書館：1点目の各図書館の分野についてです。目黒区8館ありますが、目黒区の図書館のシステムとして、借りた館と返した館は別々でも構わないというシステムがあります。そのため、図書館にある本が次々と移り変わっていく形になります。そのため、館ごとに蔵書の構成が全く違うことはありません。ただ、各図書館ではそれぞれ特色があるコーナーを設けています。八雲中央図書館では旅と暮らしのコーナーがあり、暮らしの身近なものや旅行、美術については本棚を広く取っているので、結果的にその分野の本の数が多いです。大橋図書館は公園がすぐ隣にありますので、花と緑のコーナーがあり植物や虫の本が多いです。図書館ごとにコーナーの特色はありますが、どこの図書館に行っても同様に色々な分野の本があります。

図書館：2点目の働く職員の役割分担や違いについては、今日目黒区の図書館では目黒区役所の職員と、図書館の業務委託をしている部分で民間の会社の人が働いています。八雲中央図書館は、事務室で働いていた人達の中でも2つの役割があります。貸出返却カウンターや本棚に本を戻すことや本の装備の部分は業務委託のスタッフが担当している部分です。区の職員は、本の選定・受入の部分や、資料相談カウンターで調べ物のお手伝いをしたり、リクエストいただいた本について、目黒区以外の自治体に貸出をお願いしたりするという外部とのやりとりを行っています。また、図書館の運営の基本の予算や建物の管理等を区の職員が行っており、このように役割分担をして図書館全体の運営をしています。

参加者：毎週末、目黒本町図書館を使っていますが、ロボットがいたらいいなと思っています。そういった設備を増やすのは厳しいと思いますが、自治体の中で、もっと図書館に予算や図書館を残さなければならないという評価が上がっていくために、何か利用者として協力ができないかと思ったのですが、いかがでしょうか。

図書館：八雲中央図書館はフルフラット、段差もほとんどないような形で作られていますが、他の図書館は階段や段差があります。階段を上るロボットができればいいなとは思いますが、図書館全体で同じようにロボットを導入するというのは難しいと思います。ただ図書館の評価を上げていくための取り組みというのはご意見いただいた通り、非常に私どもも大切なことだと考えています。毎年度一定の予算が取れないと、資料の充実にも取り組めないですし、私どもが目指している利用者の皆様にとって親しみやすい、使いやすい図書館を目指すための事業も展開できないことになります。「利用者の方から、こういったご意見をいただきました。だからこそ、こういう取り

組みをしたいです。そのためにこれだけのお金が必要です。」というような形で、予算を管理している部門に意見を出すことができます。こういう場で利用者の皆様から率直なご意見をいただくということで、私どもの日頃の取り組みの後押しをしていただくことをお願いできればと思っております。

図書館：皆さん投書をされたことがありますか。楽しかった、うれしかった、よかっただけではなく、図書館に来てこの本を借りたらこんなことができた、例えばお料理や手芸など小さなものから、住宅の買い替えのときにこの本がとても役に立って助かった、病気や健康でこんな本を読んで助けられた等、この本を読んだら、図書館に来たら、こんないいことがあったというのをぜひ、お寄せいただくとすごく嬉しいです。区・図書館、両方のウェブサイトでもお声を寄せられるようになっております。

参加者：最近地震が多く、コンビニの棚から商品が落ちた映像をよく見ます。たくさん蔵書があるので、図書館でもし起きたらバラバラになった本を修復したり、戻したりするだけでも大変だろうなというのが、最初の印象でした。しっかり固定するなど、災害に備えた対策をされているのですか。

図書館：八雲中央図書館のことでお話をします。書架と書架の間に耐震のワイヤーのようなものがあって、床下のコンクリートまでビスが入って書架が止まっています。この図書館は 2002 年にできて、直前にあった鯖江の大きな地震の時の数値を参考にした形で設計されています。おそらく震度 6 ぐらいでは書架は倒れませんが、本の落下は多少あるかもしれません。東日本大震災のときにもほぼ大丈夫でした。開架の公開書庫の奥の上の方にあった縮刷版という少し厚くて背の高い本の一部が落ちました。地震はおそらく揺れの向きだと思いますが、旅と暮らしの書架で雑誌が落ちることは多少ありましたが、他の書架は大丈夫でした。対策としては、食器棚でも倒れないように手前にパッドを入れると奥の方が上がるのがあると思うんですけど、そういうものを設置できる書架もあります。滑り止めのテープを書架の一番手前のところに貼るだけでも、手前に滑って落ちてこないという個別の書架に対する対策はありますが、書架を全部取りかえるのも莫大なお金がかかりますし、テープにしても総延長何メートルになるかというのもあるので、今のところ目黒区ではそういったことは残念ながらできておりません。書架から離れてくださいとか、このルートで移動してくださいというような避難訓練は毎年やっております。あと水害については、ここは地下で雨漏りは時々ありますが、水が出たことはありません。いくつかの対策を順番にやっていかなければいけないと思っています。

参加者：電話で予約本が来たお知らせを受けるとき、とても感じがよく、いつも嬉しく思っております。目黒区に本がなくて、他区の図書館から借りた本には、黄色い紙が差し込まれており、それが少し邪魔です。取り外して読むと忘れてしまい、あれがなくても他の館から借りたというのが押されているので、不要ではないでしょうか。

図書館：黄色い紙は、初めて借りる方に、「これは目黒区の本とは違うものです」ということをご理解いただくために入れています。見慣れたかたには邪魔になるかもしれませんが、初めての方はやはり注意書きを読んでいただいてからお使いいただきたいというお願いでございます。

参加者：年間にどのくらいの本を廃棄していますか。

図書館：年間で5万点ぐらいです。

参加者：大橋図書館をいつも使っています。子どものために大量に本を借りるのですが、ときどき何を借りたかわからなくなってしまって、自分が借りた本の履歴が見られたらとても便利だと思います。

図書館：一手間かけていただきますが、借りている状態のときに、ウェブサイトのマイページで借りている本のリストをマイリストに移すことができます。そうすると、借りたものの履歴はマイリストで見えていただくことができるような仕組みになっております。自動的に借りた履歴を残す仕組みにはなっていませんが、マイリストをご利用いただくことで、履歴を残すことはできるようになっております。詳しくご説明した方がよろしければ、個別にご相談できればと思います。

参加者：ここの図書館はどのくらいの広さがありますか。

図書館：図書館8館あり、全館合わせて9,600㎡くらいあります。一番大きいのはここ八雲中央図書館で、3,020㎡、一番小さいのは中目黒駅前図書館で383㎡です。

参加者：とても勉強になって楽しい機会をありがとうございます。鷹番住区は図書館がありませんのでちょっと遠く、私は自転車で来られますが、子どもが歩いて来られません。子どもたちは、YouTubeやゲームの時間が長く、読書の頻度が下がってきており、悲しい状態です。例えば、他の自治体は本の借りた履歴の通帳を子どもたち向けには提供するという取り組みがあります。また、学校で検索して学校にはなかったけれど、八雲にはあるから八雲から学校にきて読めるなど、システムを連携されることで子どもたちが本に触れられる機会を増やしていただければと思っています。

図書館：子どもの本の再利用について、児童向けの読む回数が減ってきた本や、古くなってきたものの再利用選定会というのを行っています。コロナの時期は中止になり、今年何年ぶりかで開催します。一部の学校、児童館、学童、保育園の方も再利用選定会に参加される予定になっております。例年11月頃に開催します。図書館では令和7年度に、「子ども読書活動推進計画」という、どうやって子どもに本読んでもらうかの計画を作る予定です。その中で図書館としてどんなことができるか、学校とどういう連携ができるか等を盛り込んだ計画にできればと思っています。案ができた段階でパブリックコメントをかけて、広く皆様に意見を聞く機会を設けます。こういう計画がいいとか、こういう図書館が望ましい等のご意見を寄せていただけると、よりよい計画になっていくかと思いますので、ご協力をお願いいたします。

図書館：電子図書館を皆様ご存知でしょうか。図書館に来られない方でも本をデータで見ていただくという取り組みをしています。目黒区の電子図書館は、区立図書館の利用登録をしていただいている目黒区民の方に限られます。紙の本と一緒に、基本は1人1冊、どなたかが借りられると他の方は見られなくなってしまうますが、読み放題パックという、読み放題の電子書籍をこの10月に、287タイトル導入しました。読み放題という名の通りで、一斉にアクセスしても同時に読めます。子どもたちにもぜひ本を読んで欲しいということで電子図書館のウェブサイトのトップに、わかりやすい形でバナーをつけています。電子図書館にログインすればいつでも読めるような状

況なっていますので、ご活用いただければと思います。

図書館：いろいろご意見を頂戴いたしましてありがとうございます。よろしければアンケートの裏側も白紙になっておりますので、聞きたいことを書いていただければこちらもありがたいと思います。よろしくお願いいたします。最後に八雲図書館長より閉会のご挨拶を申し上げます。

5 閉会（八雲中央図書館長挨拶）

図書館長：皆様、長い時間お疲れ様でした。

先ほどから様々なご意見、ご質問等いただきまして、中にはこの場でお答えするのが難しいものや、ある程度お時間いただいて長期的に検討しなければならないご意見等もいただきました。私どもにとっては利用者の方の生の声を伺うことができたというのは大変貴重な機会です。これだけ多くのご意見等をいただけるというのは、それだけ皆様の図書館への期待が大きいのだと、伺いながら思いました。目黒区立図書館全8館では、施設の構造や来館される方の属性の傾向などに応じて、少しでも利用しやすい図書館になるように、職員一同日々工夫を重ねているところでございます。本日いただいたご意見等も参考にしながら、引き続きサービスの充実に努めてまいりますので、今後も目黒区立図書館をご利用くださいますようお願いいたします。本日は最後までご参加いただきまして、ありがとうございます。

図書館：それでは、利用者懇談会を終了させていただきたいと思います。

次回については、また決まり次第、図書館や区のウェブサイト、めぐろ区報でお知らせいたしますので、また次回もぜひご参加いただければと思います。本日は長い間ありがとうございます。気をつけてお帰りください。

以 上